キャリア教育×地域企業ＣＳＶシフト（社会課題解決）＝子供の社会的保護インフラ構築

高橋　剛志

自分の器が小さいことに気づく

私達は令和元年に建築請負業から地域コミュニティーの創生を通じた地域活性化へと事業の刷新を行いました。地域のインフラを守る、もしくは人の最も身近な環境である住宅を建てたり、リノベーションしたり、地域経済の拠点となる店舗の設計施工等の建築業務中心ですが、建築以外にも枠を広げました。

事業を「四方よし」の地域社会実現の為の取り組みであると再定義し直しました。近年色々な学びをする中で「自分だけが良ければいい」という思考にだけは陥るまいと創業時から固く心に刻んでいた私は、それまで自分たちが暮らす地域を良くすること、元々の出自が大工であるが故、職人の地位向上ばかりにこれまで注力をし続けていたことの視野の狭さ、視座の低さに気付かされました。

中卒経営者が教育事業に取組む経緯

様々な社会課題やその解決に向き合う諸先輩方から学ばせてもらう中で、自分がこれからの人生をかけて向き合い、取り組むべきは教育の事業だと気付かされました。

私の最終学歴は中学校卒業です。教育の世界には縁の無いものだと思っていましたが、大工としての創業から年数を重ねる内に主たる仕事は社員大工の育成、社員教育へと移行していきました。単なる作業員ではなく、主体性と倫理観を持って、顧客をはじめとするステークホルダー（利害関係者）と信頼関係を築く職人達は、工事のプロジェクトを担当し、取り仕切るようになり、また信頼関係をベースにしたリピートや紹介と言った循環型の受注を重ねてくれる様になりました。いわば、建築業界にこれまで存在していなかった職人を中心にした自律分散型組織へと変容を遂げたのです。

２０１４年、私が自社職人を長年育成し続けてきた経験を元にした、職人育成のスキームを他社向けに公開して欲しいとの依頼を工務店業界の団体から要請されました。職人の地位向上には職人自身が意識と働き方を変えて自助の精神を発揮出来る様になるべきとの信条を実現させるべくプログラムをまとめ、２０１５年から全国で現場実務者向けの研修事業をスタートさせました。いつしか、教育事業に関わる様になったのです。

子供たちが抱える課題

今年マイスター高校を開校して、本格的に教育事業に足を踏み込み、社会に直結した新しい学校の形態をデザインし拡散する中で、子供達や子育てをしている親御さんが抱える課題に触れる機会も数多く得られました。今の学校教育に馴染めない、学歴社会からこぼれ落ちる子供達が急激に増えている不登校児童問題については知っていましたし、その子供達にテストの成績等関係のない評価基準で活躍できるモノづくりの世界が受け皿になりたいし、なるべきだとの考えがありました。しかし、衝撃を受けたのは児童虐待が圧倒的に増加しており、家庭的養護を受けられない子供が増え続けている事実です。

児童養護施設に代表される社会的養護を必要とする子供達が増え続けていることはまさに複雑な課題が絡み合う現代社会が弱者に対してアウトプットした課題の結晶のように感じます。

何の罪もない子供が暮らす家もなく、育ててくれる親から見捨てられたり、虐待を受けたりして社会から遠のいてしまうのは大きな社会の損失でもあります。そして、社会的養護とは１８歳になって施設を退所するまではなく、社会に出てから自立して、孤独に陥ることなく社会に順応し、生きがいを持って生きられるところまでが出来てこそだと思いました。

社会的養護の主役は企業であるべき

先日、児童養護施設の職員から相談を受け、その施設を訪問してきました。そこで運営状況の厳しさと出所児童が社会に出て晒される厳しい現実を垣間見ることになりました。改めて社会の受け皿としての企業の在り方を考える機会になり、私達が運営しているキャリア教育の高等学校こそが社会的養護の主役となるべきだと認識を新たにした次第です。

施設で暮らす児童は高校を卒業して就職した時点で原則、施設を出て一人暮らしを始めなければなりません。慣れない職場に初めての仕事、社会に出た当初は様々なストレスが生じますが、一人でそれを乗り越えなくてはなりません。社会へのハードランディングを余儀なくされているのが現状で、就職した企業に定着できない児童もかなりの割合でいるとのことでした。

CSVシフト×キャリア教育＝社会的養護インフラ

ちなみに、マイスター高等学院は建築業界に限定しているわけではありません。一定の条件を満たせばどんな業種、業態でも職能教育の高校として参画できます。

私は「企業は人なり」の原則論からあらゆる事業所は人材を育てることが主たる事業であると考えており、全ての事業所は教育機関になるべきだとの持論を持っています。

地域に根差して事業を行なっている様々な事業所が高校を併設してＯＪＴで仕事を教える。人としての在り方、働くことの意味や目的を明確にし、倫理観を持って襟を正して真摯に仕事に励めば必ず誰もが大きな成果を生み出すことが可能なはず。実際、その理論を実践して２３年間事業を継続して営めています。

地域企業の社会課題解決モデルへのシフトと自社で活躍する人材を育成するリアルなキャリア教育こそが本当の意味での社会的養護をインフラとして整えることになると思うのです。

子供は国の未来です。全ての子供に安心と希望とチャンスを手渡すことこそ、私達大人の最大の務めだと思うのです。

四方継 令和六年 の抱負とお知らせ

建築だけではなく、地域社会にも「と役立てる会社になろうと「株式会社四方継」に変わって今年は4年目を迎えます。地域に根ざした会社として各方面の方々との連携を広げてきました。今年はさらにそれを進化させ、新たに地域課題を解決できるサービスを生み出したいと考えています。本年もどうぞよろしくお願いします。

建築事業部 つむぎ建築舎 2024年の抱負

新年あけましておめでとうございます。建築事業の今年の抱負は「楽しむ」です。スタッフ一同笑顔いっぱいで楽しんで業務に励みたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

聴き手、つなぎ手共にお客様とのつながりを今まで以上に楽しんでいきたいです！

地域コミュニティ事業部 つない堂 2024年の抱負

2023年後半から新規事業がスタート。その他外部イベントに参加をしたり、地域とのつながりをますます強めていく一年にしたいと思っています。お得なサブスクサービス「つなぎ」のPRも強化していきます！

1月20日の西神中央ウェルマルに出店予定！「つない堂」を見かけたらお声がけくださいね！

お知らせ①

2023年、つむぎ建築舎に新しいスタッフ工務部 荻野優弥、設計AS 杉山陽子が加わりました！よろしくお願いいたします！

四方継にも少しづつ若い力が入っています！引き続き社員募集中！

お知らせ②

来年は国交省による「子育てエコホーム」がスタート。子育て、若者夫婦への新築住宅購入支援と共に、全ての世帯を対象としたエコリフォーム工事も対象。早めの申し込みで支援金ゲットのチャンスです!!

昨年に引き続き支援の手厚い事業です。悩まれている方はぜひご検討、ご相談下さい！

お知らせ③

4月より無料学習塾を週一回開催予定。中学生の生徒さんと、大学生・社会人ボランティアスタッフtou募集中!!
（詳細は１～２月頃、つない堂HP、SNS等で告知致します）

当社3階で毎週水曜日実施予定です　少人数制となりますので気兼ねなくご参加頂けますよ

2024年 巡回メンテナンス予定表

下記予定となっておりますが、都合により前後する場合がありますのでご了承ください

1月	明石市全域 播州全域	7月	長田区・兵庫区・灘区・東灘区全域
2月	西区 学園東町・学園西町・池上・大津和	8月	中央区全域 北区　南部・中部
3月	西区 有瀬・長坂・前開・今寺・別府	9月	北区 北部／三田市・芦屋市・西宮市全域 伊丹・宝塚・尼崎市・三木市・西脇市・加東市全域、
4月	西区 玉津・玉津北部・押部谷・月が丘・秋葉台	10月	垂水区　小東山・学が丘・多聞台・舞多聞台・向陽・高丸・千代が丘・清水が丘・星が丘・五色山・海岸通・星稜台・霞ヶ丘
5月	西区 桜ヶ丘・井吹台東町・櫨谷町・井吹台西町・北町・狩場台	11月	垂水区　神陵台・西脇・南多聞台・舞子台・西舞子・狩口台・神和台・名谷町・つつじが丘・桃山台
6月	西区 糀台・竹の台・樫野台・春日台・美賀多台、他	12月	垂水南部／須磨区　前池町・神撫町・大手町・明神町・須磨東部・千守町・高倉町・潮見台町・高倉台・白川台・若草町・緑ヶ丘、他

※　須磨区　妙法寺・道正台・清水台・横尾・多井畑・竜が台・友が丘・菅の台・落合・神の谷は2025年1月に実施予定

※　巡回メンテナンスをご希望の**一般のお客様**は、上記巡回のタイミングに**【大工工賃１時間無料】**でお伺い致します

※　巡回メンテナンスをご希望の**つなぎ有料会員のお客様**は巡回のタイミングに関わらず年１回お好きなタイミングで**【大工工賃３時間無料】**でお伺い致します

※　一般のお客様、有料会員のお客様共に**【材料費、延長時間工賃、専門業者による工事】は別途ご請求させて頂きます**